

2018年9月28日
〈環境省と同時発表〉

スマートラッピング推進中

～10月は3R月間です～

日本百貨店協会(会長:赤松 憲・会員数:80社 206店舗)では、持続可能な社会の実現に向け、消費者自らが使い道にあった包装を選択する「スマートラッピング」を呼び掛けています。容器包装の適正化、容器包装材使用量の削減や再生包装材の利用に取組み、その方法の一つとして、ふるしきの普及やマイバック運動等を推進しています。

3R推進月間(10月)は、特定非営利活動法人 気象キャスターネットワークのご協力により、気象キャスターの蓬莱大介さんと酒井干佳さんが店内放送(録音)を通じて、限りある資源を未来に繋ぐ3R(リデュース・リユース・リサイクル)を呼びかけます。

「スマートラッピング」平成18年6月5日創設、毎月5日は「スマートラッピングの日」
「贈答品はきちんと包む」・「ご自宅用品はシールのみ」・「まとめて入れる」といった、メリハリのある包装を、お客様が選択する「自らが考え・選択する」(スマートコンシューマー)ための呼びかけ。



統一ポスター



統一ポスター



レジ袋ご不要カード

平成20年7月より、マイバッグ利用促進と連動させ「お声かけ」等の徹底を図ることを目的として、「レジ袋ご不要カード」を店内の集中レジに設置しています。

レジ袋を必要としないお客様が意思表示を容易にできるよう、レジ袋の削減にも取り組んでいます。

日本百貨店協会では『百貨店のCSR方針』を実行し、2015年に国連持続可能な開発サミットで、国際社会の共通目標として採択された「持続可能な開発目標」の達成に向け、社会課題の解決の一助となるような取り組みを積極的に進めてまいります。



※本件に関するお問い合わせは、日本百貨店協会 政策グループまでお願いします。

Tel: 03-3272-1666